

部課室名	土木部道路街路課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	道路街路課長 志茂 大輔 (国道・橋梁班長 吉田 頼彦)	内線	4362 (4378)
事業種目	道路事業	新規評価年度	平成29(2017)年度	現計画	前回評価時点
事業名	国道178号 〔浜坂道路Ⅱ期〕	事業採択年度	平成30(2018)年度	総事業費	620億円
		着工年度	平成30(2018)年度	内用地補償費	9億円
		再評価年度	令和2(2020)年度	完成予定年度	令和10(2028)年度
事業区間	美方郡新温泉町栃谷～居組	進捗率 (用補進捗率)		38%(99%)	7%(96%)
		残事業費		386億円	431億円
事業の目的			事業内容		
<p>本路線は、基幹道路八連携軸の日本海沿岸軸として、環日本海地域の交流を強化し、広域高速道路ネットワークを形成する山陰近畿自動車道（鳥取豊岡宮津自動車道）の一部区間である。</p> <p>○高速道路ネットワークの形成 日本海側の高速道路網のミッシングリンクを解消し、北近畿豊岡自動車道、鳥取自動車道とともに国土のリダンダンシーを確立する。</p> <p>○広域観光交流圏の拡充・強化 山陰海岸ジオパークをはじめとする広域観光交流圏の拡充・強化、交流人口の拡大を図る。</p> <p>○地域の安全・安心の向上 線形不良の解消等による鳥取県立中央病院（3次救急医療病院）へのアクセス向上により、地域の医療環境の向上を図る。</p>			<p>【延長】 7.6km</p> <p>【構造規格】 第1種第3級</p> <p>【幅員】 車道7.0m[全幅13.5m][代表断面]</p> <p>【計画交通量】 6,800台/日[R22予測]</p> <p>【現況交通量】 自動車：7,125台/日[R3センサス]</p> <p>【負担割合】 国：55% 県：45%</p>		
事業を取り巻く 社会経済情勢 等の変化	令和5年3月12日、岩見道路（鳥取県・東浜IC～浦富IC）が供用開始し、居組IC（兵庫県）から福部IC（鳥取県）が自動車専用道路として繋がるなど、周辺幹線道路の整備が着々と進んでいる。				
	<p>【前回評価時点からの事業計画・総事業費・工期の変更概要】</p> <p>①詳細調査の結果、劣化帯等が存在する可能性が判明したことによるトンネル支保パターンの変更及び施工時の異常変位発生に伴う補助工法の追加により約109億円増額する。</p> <p>②建設資材価格や労務単価の上昇を受け、必要経費を計上するため、約42億円増額する。</p> <p>③埋蔵文化財の存在が確認され、法律に基づく保存措置を講じたため、約4億円増額する。</p> <p>④上水道施設の補償において、移設先の井戸から大腸菌が検出されたため、追加施設（紫外線処理設備）が必要となったことから、約2億円増額する。</p> <p>⑤トンネル坑内の換気基準の改定による換気設備の見直しに伴い、約2億円増額する。</p> <p>⑥重要物流道路に指定されたことによる本線縦断計画の見直しに伴い、約1億円増額する。</p> <p>⑦建設発生土の流用を行い、残土運搬及び処分費を削減したため、約2億円減額となる。</p> <p>⑧隣接するトンネルを一括発注し、仮設備の流用を行うことで、約1億円減額となる。</p> <p>⑨トンネル掘削方法を変更し、排水ポンプを不要にすること等により、約2億円減額となる。</p> <p>⑩用地買収の難航に伴い当該箇所の工事が遅延するため、完了年度を令和10年度に変更する。</p>				
進捗状況	<p>【用地】令和元年度より用地取得に着手し、令和5年11月末現在で用地取得率は99%（面積ベース）である。残る用地についても、鋭意交渉に取り組み、早期契約を目指す。</p> <p>【工事】令和元年度に居組IC道路改良工事から着手し、現在は事業区間全線でトンネルやIC改良等の大規模工事を実施している。引き続き、早期完成を目指し工事を進める。</p>				
評価視点	評価結果の説明				
審査会意見及び対応方針（R2年度再評価）	【審査会意見】 「事業継続は妥当」である。		【対応方針】 早期供用に向け、事業推進に取り組む。		
(1)必要性	<p>①日本海側の高速道路網のミッシングリンクを解消し、北近畿豊岡自動車道と鳥取自動車道のダブルネットワークの形成により、大規模災害発生時の緊急支援物資の輸送ルート確保や災害復旧の迅速化など、災害に強い日本海国土軸を形成する。</p> <p>②山陰海岸ジオパークをはじめとする多様な観光拠点・観光資源へのアクセスを向上させることにより、広域観光交流圏を拡充・強化し、交流人口の拡大を図る。</p> <p>③本道路の整備により、鳥取県立中央病院（3次救急医療病院）へのアクセス性の向上を図り、地域の医療環境の向上を図る。</p>				
(2)有効性・効率性 (執行環境状況)	<p>①山陰近畿自動車道の佐津IC～鳥取間（約57km）における県内最後の事業中区間である。本事業完了により、高速道路ネットワークが形成される。</p> <p>②完成後の現道の管理引継について、新温泉町と協議が整っている。</p> <p>③新温泉町が運営する残土処分場で、発生する残土を受け入れることが可能である。</p> <p>④費用便益比B/C=1.2*（前回評価時B/C=1.1） ※山陰近畿自動車道（宮津天橋立IC～鳥取西JCT）路線全体で分析を実施</p>				
(3)環境適合性	<p>①事業区間に生育する貴重種を生育適地へ移植するなど、環境保全を図っている。</p> <p>②市街地の通過交通が本道路に転換されることにより、大型車等の排気ガスや交通騒音などに対する沿道環境が改善される。</p>				
(4)優先性	<p>①安全で円滑な交通を確保するため、早期に事業を完了させる必要がある。</p> <p>②高速道路ネットワーク及び兵庫県北西部と鳥取県東部を結ぶ県内最後の未整備区間のため、早期に事業を完了させる必要がある。</p>				
再評価の結果	継続	左の理由	事業の必要性・有効性等は事業採択時と変わっておらず、当該区間の早期供用を望む地元の声が強いため、継続して事業を実施する必要がある。		

道路事業 国道178号〔浜坂道路Ⅱ期〕

位置図

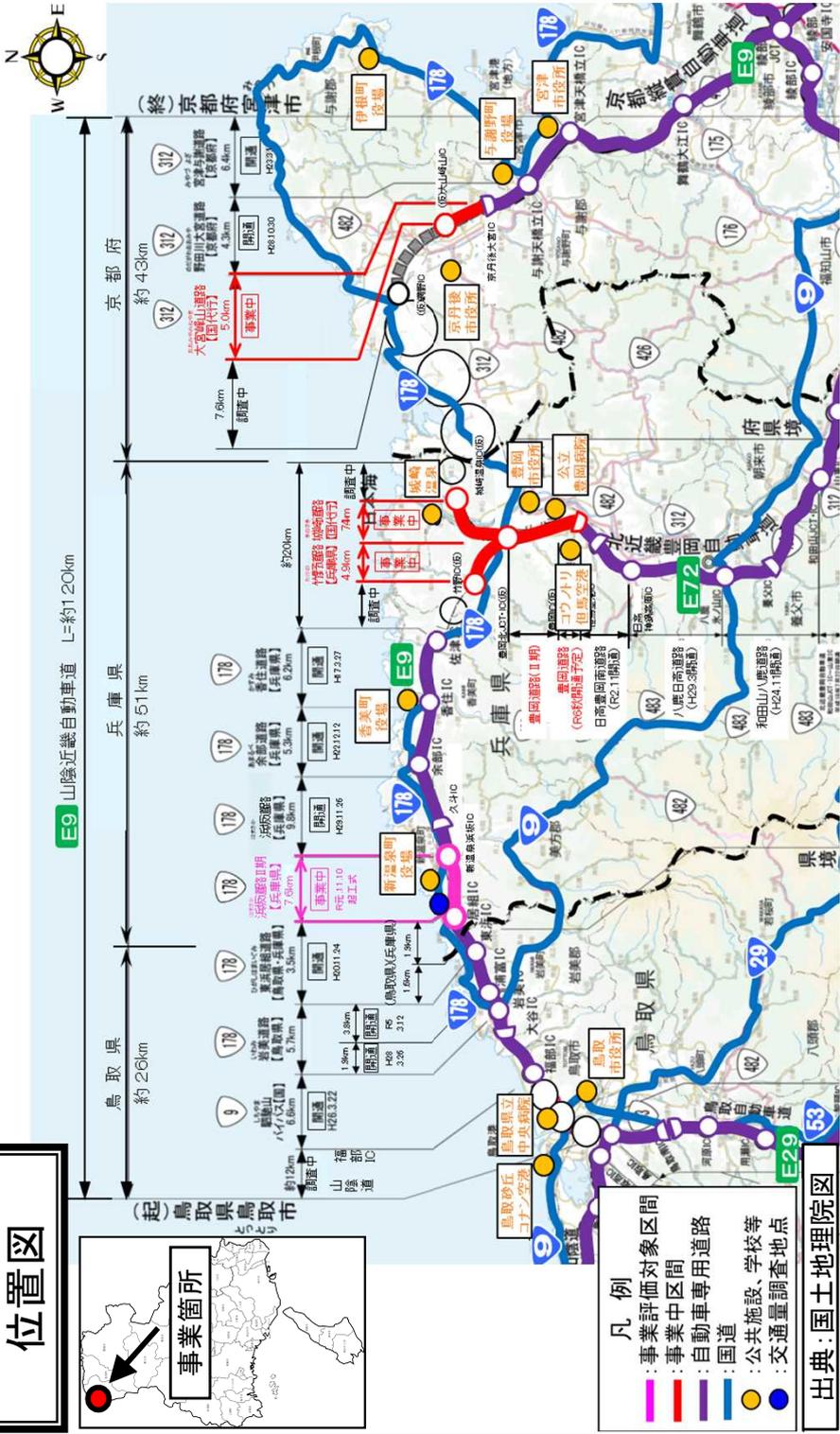


目的

- ① 高速道路ネットワークの形成
- ② 広域観光交流圏の拡充・強化
- ③ 地域の安全・安心の向上

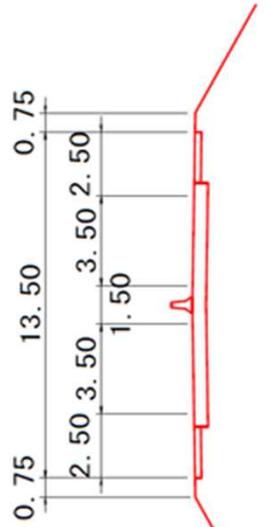
事業概要

事業区間：美方郡新温泉町栃谷～居組
 総事業費：620億円
 内用地補償費：約9億円
 事業期間：H30～R10
 事業概要：自動車専用道路
 延長：7.6km
 費用便益比B/C:1.2(全体)※
 ※山陰近畿自動車道(宮津天橋立IC～鳥取西JCT)路線全体で分析を実施

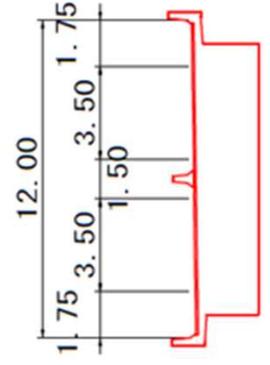


横断面

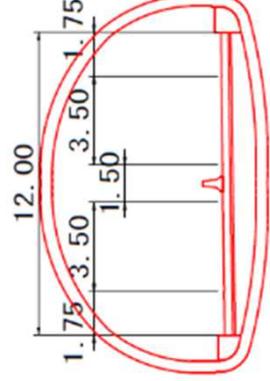
<土工部>



<橋梁部>



<トンネル部>



- 凡例
- 事業評価対象区間
 - 事業区間
 - 自動車専用道路
 - 国道
 - 公共施設、学校等
 - 交通量調査地点

出典：国土地理院図

事業の必要性・優先性

①日本海側の高速道路網のミッシングリンクを解消し、大規模災害発生時の緊急支援物資の輸送ルート確保や災害復旧の迅速化など、災害に強い日本海国土軸を形成する。

災害に強い日本海国土軸の形成

地すべりによる町道（旧国道178号）の通行止



国道178号で落石が発生し車両と接触



現況写真

①国道178号積雪による通行不良



②国道178号線形不良区間



新温泉町への通勤者の声



迂回路が国道9号しかないのは不便。災害時のことを考ええると不安になる。整備中の山陰近畿自動車道の完成を急いで欲しい。

各所で地すべりや落石による通行止が発生
山陰近畿道の整備で長期に渡る**広域迂回を回避!**

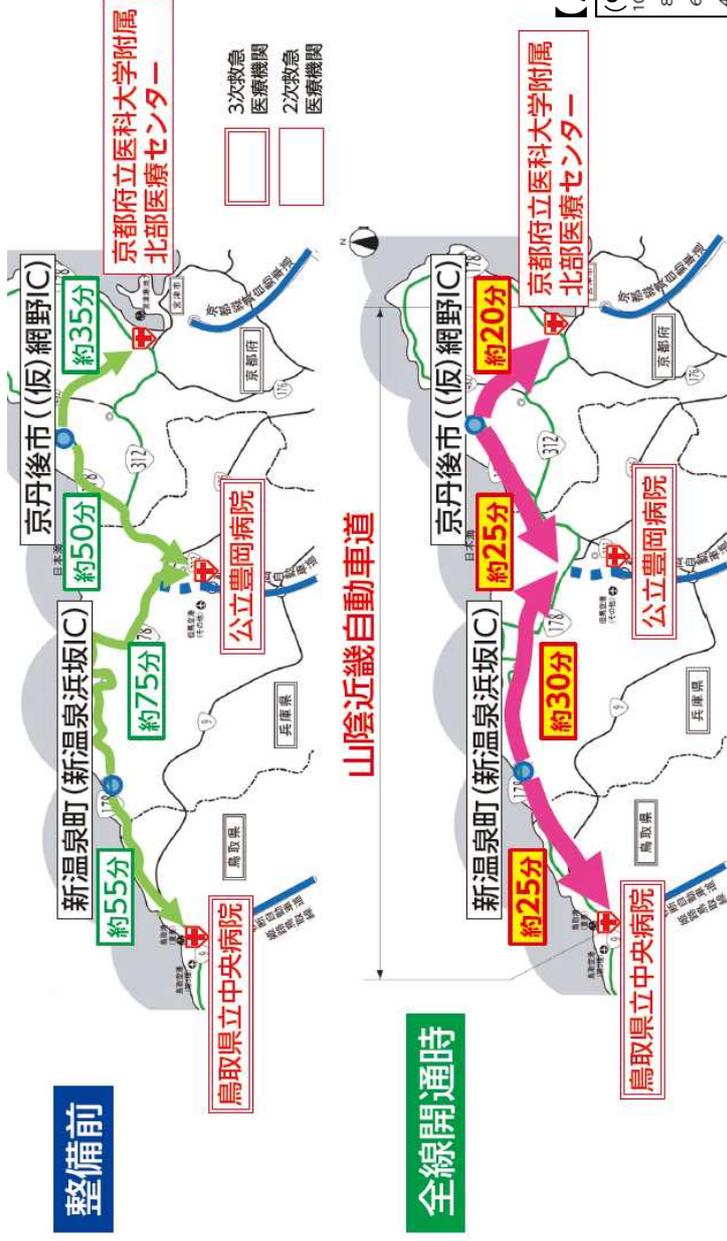


事業の必要性・優先性

③線形不良の解消等による鳥取県立中央病院(3次救急医療病院)へのアクセス性向上により、地域の医療環境の向上を図る。

命の道としての役割

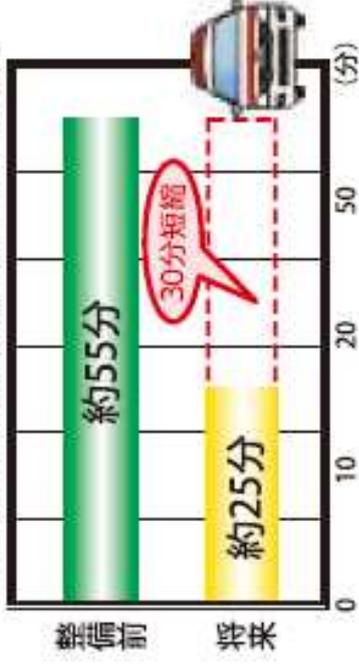
【山陰近畿自動車道整備前後の所要時間比較】



--- H30.7豪雨では「山陰近畿自動車道」が効果を発揮！ ---

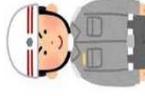
- ・但馬地域では複数の県道で規制雨量に達するなどして通行止めが発生
- ・浜坂道路をはじめとする山陰近畿自動車道は、通行止めを回避でき、緊急車両の通行路を確保
- ▶「いのちの道」としての役割を果たす。

新温泉町(新温泉浜坂IC)
~鳥取県立中央病院までのアクセス時間

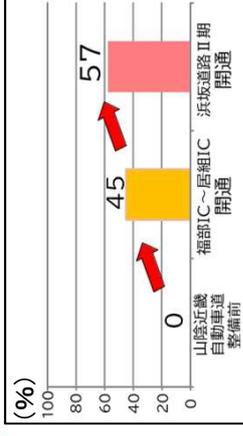


救急隊員の声

患者さんを迅速に搬送でき、救える命が増える。搬送する患者さんや運転手の負担軽減も図られている。



【鳥取県立中央病院30分圏域の人口カバー率】



進捗状況

事業進捗平面図

令和5年11月末時点



工程表

■ : 前回計画
■ : 実施・計画

工種	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
調査・設計	■	■	■								
用地補償		■	■								
道路改良工事 (設備含む)		■	■								
橋梁工事 (設備含む)			■	■	■	■	■	■	■	■	■
トンネル工事 (設備含む)			■	■	■	■	■	■	■	■	■

現況写真

①工事進捗状況(栃谷地区)



②工事進捗状況(諸寄地区)



③工事進捗状況(新釜屋トンネル貫通)



事業の有効性・効率性

(1) 費用対効果

① 便益(B)の項目

評価の視点	効果項目(費用対効果の便益内容)
① 走行時間短縮便益 ○ 目的的地までにかかる時間が短くなることによる便益	整備無しの走行時間費用－整備有りの走行時間費用 走行時間費用: $\Sigma(\text{交通量} \times \text{走行時間}) \times \text{時間価値原単位} \times 365 \text{日}$
② 走行経費減少便益 ○ 交通の流れがスムーズになり燃費などが向上することによる便益	整備無しの走行経費－整備有りの走行経費 走行経費: $\Sigma(\text{交通量} \times \text{距離}) \times \text{走行距離原単位} \times 365 \text{日}$
③ 交通事故減少便益 ○ 交通事故が減少することによる便益	整備無しの事故損失額－整備有りの事故損失額 事故損失額: $\Sigma(\text{交通量} \times \text{距離} \times \text{交差点} \times \text{交差点以外の事故損失原単位} + \text{交通量} \times \text{主要交差点数} \times \text{交差点部事故損失原単位})$

② 費用便益費(B/C)算出根拠

事業	事業名	B(便益)			代表的な効果	C(費用)			B/C		
		便益額(億円)	総費用(億円)	事業費(億円)		維持管理費(億円)	更新費(億円)				
道路事業	国道178号 〔浜坂道路Ⅱ期〕 ※宮津天橋立IC ～鳥取西JCTを 対象	全体事業費			計画交通量 6,800台/日	6,037	5,663	348	26	1.2	
		走行時間短縮便益	6,550								
		走行経費短縮便益	773								
		交通事故減少便益	141								
		計	7,464								
		残事業費			計画交通量 6,800台/日	1,727	1,637	90	-	0.6	
		走行時間短縮便益	978								
		走行経費短縮便益	78								
		交通事故減少便益	14								
		計	1,070								

(2)費用対効果に含まれない効果

評価の視点		効果項目	該当する事業内容等
①安全・安心の確保	災害時	緊急医療・緊急物資の円滑な輸送の確保 (緊急輸送道路の整備、防災拠点・災害拠点病院へのアクセス道路の整備) 救助・救援活動の支援 (災害時の通行不能や孤立集落の解消) 減災対策への取組み (二線堤道路、避難路・避難場所としての機能、延焼防止機能の確保)	○ 北近畿豊岡自動車道、鳥取自動車道とともに国土のリダンダンシーを確保 ○ 北近畿豊岡自動車道、鳥取自動車道とともに国土のリダンダンシーを確保 —
	平時	救急医療体制の支援 交通安全対策 地域間交流の促進 中心市街地の活性化 地域産業の活性化 観光支援 地域プロジェクト等支援	○ 第三次救急医療施設へのアクセス性の向上 ○ 通過交通の転換による歩行者・自転車の安全の確保 ○ 高速道路ネットワークの形成による交流人口の拡大 — ○ 高速道路ネットワークの形成による広域観光交流圏の拡充・強化 ○ 高速道路ネットワークの形成による広域観光交流圏の拡充・強化 —
③円滑な交通体系の確保		公共交通機関利用の促進 交通結節機能の向上	—
④地域の環境改善		沿道環境の改善 景観形成	○ 通過交通が転換されることによる騒音・排気ガスなどの沿道影響の改善

(3)地域からの要望状況等

要望状況等	<p>①新温泉町による残土処分場の新設、地域住民による事業用地取得の協力など地域の協力が整っている。</p> <p>②事業説明会の開催などを通じて、地元と十分に連携を図り事業を進めている。</p>
-------	--